



畿央大学後援会だより

発行：畿央大学後援会
2012年9月1日
第8号



ごあいさつ

畿央大学後援会 会長

上山 準大

まだまだ暑さ厳しいこのごろですが、会員の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

この夏のオリンピックは、メダルを期待され、それに応えることができた選手、「金」を期待されながら振るわなかった選手など悲喜こもごもでした。なかでも、男子柔道の場合は、日本の「お家芸」と言われ、全階級制覇を目指し乗り込んだロンドンであったと思うのですが、結果は金メダル無しというものでした。メダルを逃した選手のコメントを聞いた時、また泣き崩れる姿を見るにつけ国を背負うことの重さを感じました。

ただ、忘れてはならないことは、彼らが努力に努力を重ね、いくつもの怪我や故障を乗り越えて出場したことです。オリンピックに出場するだけでも凄いのに、「金メダル」を期待された彼らの心はいかばかりであったでしょう。そんなことにも思いを馳せたいと思います。

結果ばかりが重視される社会は、過度の緊張を生み出します。真面目にこつこつ頑張っても結果がだめなら評価されないものという価値観が形成されていくのです。私たちは、そろそろこの「誤り」に気づき、努力や過程を評価することのできる生き方を考えていく必要があるのではないのでしょうか。

会員の皆様へ

学校法人冬木学園 理事長
畿央大学 学 長

冬木 智子



秋暑の折、皆様いかがお過ごしでしょうか。本日、お便りの機会を得まして大変喜ばしく存じております。

たとえ何十年の歳月を重ねても、物心つく時期の親の言葉・表情・音声等は鮮やかに脳裏にきざまれているものです。そして成長し、学歴を重ね、多くの人達に出会う機会を得るにつけ、親の誠実な愛情や願いが自然と察しられてくる筈であります。それと共に生命の尊さと、生きる事の深い責務を自覚させられるのであります。

現在畿央大学に於きましては開学以来早や10年の歳月が経過し、設置する各学部・学科においては、それぞれ社会的にも高い評価を得て、その実績を認められるに至っております。在学生たちの出身地も、はるか遠い沖縄県や九州、四国をはじめ近畿を中心に35府県に及んでおります。

今後とも私どもは本学園創立60有余年、連綿として実践して参りました建学の精神である、徳をのぼす・知をみがく・美をつくるの真髄を極め、その実現に向かって全学園あげて精進する覚悟でございます。

ここに改めて畿央大学後援会の皆様方に衷心より感謝申し上げますと共に変わらぬご支援をお願い申し上げます。皆様方のご健勝を心よりお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



健康管理は自己責任

健康科学部長 健康科学研究科長 金子 章道

畿央大学後援会会員の皆様からは、本学の教育に対し日頃より深いご理解と多大なご支援を賜り深く御礼申し上げます。本学教員は建学の精神のもと、一丸となってご子弟の教育に当たっております。

学生たちの中には体調不良を訴えるものが少なくありません。体調不良を理由に欠席したり、教室で居眠りをしたり、授業中にトイレへ行ったりするものがあり気になります。体調不良は自分の健康管理が不十分な結果起こります。小学生や幼稚園児なら健康管理の責任は親にあるでしょう。しかし、大学生は大人です。健康管理は自分にしか出来ません。健康で勉学に励む、これは大学生の自己責任です。どうか皆様も学生が大人としての自覚を持つよう、ご指導とご協力を賜りますようお願いいたします。

英語教諭養成の船出

教育学部長 白石 裕



後援会の皆様、こんにちは。本学において中学校・高等学校英語教諭の免許状取得が可能になって3年目。今年度前期に3回生が初めて英語の教育実習に臨みました。緊張しながらも一生懸命取り組んだとの報告を受けています。英語の教師になりたいと強く願っている学生たちの夢をぜひ実現させたいものです。

以前、国立大学医学部と教員養成大学の学生を対象にしたそれぞれの調査で大学生の成績にもっとも強い相関を示したのは高校のときの英語の成績だったという調査結果を読んだことがあります。外国語の学習は思考力を鍛えるという格好の例でしょう。その意味でも本学の外国語教育を充実させる必要があると思っています。本学の英語教諭養成にご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。末筆ではありますが、皆様のご健勝を祈念いたします。

平成24年度

後援会総会を開催

7月7日（土）午後1時より、本学E棟104PC講義室において後援会総会を開催しました。総会に先立って午前中に開催された役員会では、お子様の学生生活の様子などを通して感じる大学への要望や期待などが交流され、その上に立って、昨年に引き続いて畿央祭への保護者の参加を促進することや、大学の施設設備の充実、そして、開学10周年記念への後援会としての協力などを盛り込んだ総会議案が確認されました。

総会では、はじめに役員会を代表して上山会長からご挨拶をいただきました。その後、議事に入り、平成23年度の事業報告、監査報告を審議し、承認されました。つづいて、平成24年度事業計画、予算案が審議されました。事務局より、今年度の事業計画・予算の主な内容として、昨年から重視している後援会の独自活動の充実のために必要な予算を充てること、パソコン教室の環境の改善に補助すること、奨学金、国家試験対策等に対する助成は昨年の水準を維

持すること、記念事業等積立金の積み立てを増額し、来年度の畿央大学開学10周年での「建学の精神の碑」建立に助成することなどが報告され、事業計画・予算案は承認されました。

役員の改選では、総会に先立って開催された役員会で推薦された11名の

新役員が選出されました。本年度の後援会役員は上表のとおりです。会員の皆様のご

協力を得ながら活動を進めていきたいと決意を新たにしています。

●新役員

役職	役員氏名	学生の所属等
会長	上山 準大	教育学部 現代教育学科
副会長	泉 美恵子	健康科学部 健康栄養学科
副会長	藤本 秀隆	健康科学部 人間環境デザイン学科
会計	谷 正年	健康科学部 理学療法学科
会計	小松 美佐	学生支援センター職員
書記	中 久美子	健康科学部 健康栄養学科
書記	中西 弘典	学生支援センター職員
委員	中川 裕子	教育学部 現代教育学科
委員	櫻井 恭子	教育学部 現代教育学科
監事	山口 良子	教育学部 現代教育学科
監事	森本 勝	教育学部 現代教育学科
顧問	冬木 智子	畿央大学 学長
顧問	金子 章道	健康科学部 学部長
顧問	白石 裕	教育学部 学部長

畿央大学後援会とは

畿央大学後援会は、畿央大学の学生の父母または保証人をもって構成される団体です。学生の教育や厚生に必要な施設設備の充実、研究活動やクラブ活動などに必要な援助を行うことによって子どもたちの学生生活の充実と畿央大学の発展に貢献することを目的としています。また、会員相互の連携をすすめるとともに大学と父母または保証人をつなぐ役割を担って、保護者懇談会や広報の取り組みをすすめます。

保護者懇談会・懇親会に寄せられた声

理学療法学科

- 小規模な大学だけに子ども一人ひとりをきめ細かく見て頂いているようで、丁寧な教育が有難いです。これからもしょろしゅろお願い致します。またこのような懇談会があればうれしいです。
- 大学と保護者の距離が近づき、学校の内容もよくわかり、参加して良かったです。娘も楽しく通学しています。これからもしょろしゅろお願い致します。
- 今回もこのような機会を設けて頂き、心から感謝しております。保護者は情報交換の場を求めています。保護者が参加できる大学祭等の行事の時にも、保護者、教職員の皆さまとコミュニケーションできるスペースを作っていただけたらと思います。畿央大学ならではの人と人との



学科ガイダンス

距離が近く、あたたかい取り組みを希望します。

- 初めて懇親会に出席させていただきましたが、先生とも楽しくお話しもでき、他の家族の方達とも話せて大変良かったです。ありがとうございました。

看護医療学科

- 1回生で参加させて頂き校内の様子が見学できて良かったです。今後も校風がぶれることなく、長く畿央大学を存続させて頂きたい。そう思える大学だと感じました。今後とも大学との接点を持てる機会があればよいと思います。
- 子どもは、充実した大学生活を送っているようです。懇談会に出席し、各センターの役割や先生達の学生に対する“まなざし”をととても理解できた一日となりました。来年も必ず参加したいと思っています。
- 懇談会で先生方のお話が聞けるようなことは高校までの学校でもなかったことなので本当にありがたく思います。
- 保護者懇談会を開催して頂きありがとうございました。学校のご配慮が十分感じられる内容で大変良かったです。
- 学科別説明会でもお話がありました様に、これからは、チーム医療や高い専門性が



懇親会

求められてくることと思います。これから実習を重ね、いろんな方と接します。人間性豊かな看護師になれるように、ご指導お願い致します。

健康栄養学科

- とても和やかにお話をさせて頂きました。お土産のKioクッキーとても美味しくいただきました。とても有意義な時間でした。ありがとうございました。
- 毎年参加させて頂いて、今回で3回目になりますが、いつもスタッフの学生の対応が感じ良く、感心いたします。先生方も学生をよく見て下さっていて、有難く思っています。
- 学内のどの先生も子どものことを一生懸命指導して下さいありがとうございます。

第7回 保護者懇談会・懇親会を 開催しました。

7月7日（土）後援会総会に引き続き午後1時30分より保護者懇談会が開催されました。今年で7回目を迎えた保護者懇談会は、あいにくの不安定な天候にもかかわらず、各地から昨年を上回る250名の保護者が参加されました。年々参加者が増加し、保護者のみなさんの関心の高さがうかがわれます。

全体会では、冒頭の冬木学長、上山後援



会会長のあいさつにつづいて、「畿央生のメンタルヘルスの現状と畿央大学の新しい学生相談体制について」と題して教育学部の良原誠崇准教授による講演が行われ、学生のメンタルな状況の報告とともに今春から開設された新しい学生相談窓口であるキャンパスコラボレーションセンター（通称：こころぼ）が紹介されました。次に水上入学センター長より、今年の新入生が突破した2012年度入試の結果についての報告がありました。

学科ごとに分かれての学科説明会では、学科教員、担任の紹介や学科での学生生活のや授業の様子、国家試験対策や教員採用試験対策の取り組みなどについて報告・説明が行われました。

その後、個別の相談会や学生の案内による学内見学などが行



われ、ひきつづいて食堂で懇親会が開催されました。今年の懇親会は、参加人数が大幅に増加したため食堂1階と地階に、健康科学部、教育学部が分かれての開催となりました。学科ごとのテーブルを囲んで、教職員と保護者、保護者同士の懇談が和やかに繰り広げられ、大学生活の様子や就職のことなど様々な情報交換が行われました。

保護者懇談会・懇親会では、学生と教員の距離が近い大学であることや学生の進路に向けて積極的な取り組みが行われていることを感じ取っていただき有意義なひと時を過ごしていただくことができたようです。参加者から寄せていただいたアンケートの内容やご意見を生かして、今後も保護者のみなさまにとってより有意義な保護者懇談会や説明会を開催していく予定です。

保護者のみなさまのいっそう多くのご参加をお待ちしています。

保護者懇談会・懇親会に寄せられた声

ました。今後ともよろしくお願い致します。

人間環境デザイン学科

- 入学してから感じていたことを懇親会の時に色々話ができよかったです。学年に関係なく先生の方から話しかけてくださって、学校を身近に感じました。来年も参加したいと思います。
- 日頃、学校のことをあまり話さないの、直接学校に行き、話を聞けて良かったです。懇親会も沢山の料理を前に先生方とゆっくりお話ができて、有難かったです。
- 駅で子どもさんに手を振っている優しい学生さんにお会いしましたが、会場がわからず、スタッフの方に声をかけたところ、その学生さんでした。親切に部屋まで案内して下さいました。このような心あた



個別相談

たまる学生さんが畿央大学にいらっしゃることを大変うれしく思いました。これからも素晴らしい学生さんを卒業させて頂きたいと願っています。

現代教育学科

- 昨年に続き、今年も参加させていただきました。いつも先生方がほとんど出席して下さっているのに驚かされます。時間の都合で懇親会には参加できませんでしたが、来年はぜひ、行きたいと思っています。
- 先生方とお話しできて良かったです。とても気さくにお話しして下さいました。上回生のご父兄の方ともお話しでき、いろいろと教えていただけて良かったです。
- どの先生もお話しの中で、子ども達に対する思いや優しさが伝わり、子どもを預けている親としては、有難くもあり、もっと子どもに対して親もすることがある！と反省しきりでした。初めて参加しましたが来てよかったと思っています。
- 先生方より家庭ではわからない子どもの大学における姿を教えていただいて、有意義な懇談会でした。
- 機会があれば学校に行かせて頂いていますが、とても良い学校だと思っています。学生達は自主性もあり礼儀正しさもあり、



学科ガイダンス

そして先生方はそれを上手に誘導、導いていかれていると思います。昨年は畿央祭当日の説明会でしたが、学生のそんな一面が見ることができ、そして、今年度はまた違った面を見ることができて喜んでおります。

- 第2志望だったので行く気がせず、「大学を受け直す」と言っていたわが子が、昨年（1回生）から大学祭実行委員会に加わり、先輩や学友に恵まれ、しだいに充実した日々を送るようになりました。今年も責任のある立場を任せてもらい、クラブ・サークルと活躍しているようです。授業の事はちらほら話してくれますが、インターンシップや英語onlyの授業など頑張っているようです。学生生活を充実させているわが子を見て、きっと畿央大学に親には分からない大きな魅力があるのだと感じています。

メッセージ

理学療法学科
学科長
庄本 康治



保護者の皆様には、日頃より本学科の運営、教育にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

先日、理学療法士になって6年目を迎える卒業生（大学院生）と話す機会があり、

大変感銘を受けました。彼は、後輩や学生の指導時に、患者さんの顔色の変化に気づかない人が多いと指摘しています。そしてこのような人は他の専門職との関係構築も苦手であり、その原因は、相手の表情を読み取り、相手の気持ちの変化を推測できないためではないかと考えていました。たしかに我々の治療は薬物療法とは違い、良い関係が構築出来てはじめて治療効果が認められます。そのためには、言語的コミュニケーションはもちろんですが、相手の目を見つめて話す、相づちを打つ、ジェスチャーで示す、笑顔を見せる、美しい立ち振る舞いをする事等が重要になります。彼はこれらを達成するために、朝、鏡に自分の顔を写し、にこっと笑い、「今日一日、この笑

顔を忘れない」と言い聞かせてから出勤するそうです。また、日々繰り返される理学療法士の一見地味な仕事に対しても、常に全力で臨むことが重要で尊い事であり、それを継続可能な気力、体力、感性を身につけなければいけないと主張していました。さらに、定年間近になっても、新人理学療法士の気持ちを忘れずに、全力で理学療法を実施できることが目標の1つであると言っていました。大変忙しい彼ですが、「心棒」が一本通っているのを感じ、彼のもとに多くの人が集まる理由を改めて理解できました。

このような卒業生に教員と学生が支えられていることに感謝すると同時に、卒業後に成長し続けることが可能な人を輩出して、患者さんの役に立ちたいと痛感しました。

国家試験対策を強化しています

2012年3月に理学療法士国家試験の発表がありましたが、表1に近畿圏内の養成校の合格者を提示しています。畿央大学では67名受験して64名が合格し、95.5%の合格率で、不合格の3名はいずれも1点、あるいは2点の不足でした。全国の養成校の平

まず 均合格率は82.4%であり、新卒者に限定すると、大学が87.8%、専門学校が84.7%の合格率でした。ご存じかもしれませんが、2011年の全国合格率は74.3%であり、2012年は各養成校とも危機感を持って対策したにもかかわらず、90%を切る合格率になりました。問題が難しくなったことが大きい要因と考えていますが、模擬試験成績不振者の多くに、

「何とかなる」という甘い考えを持った学生がいたことも要因であると考えています。問題が難しくなりましたが、単に記憶レベルを要求するのではなく、深い思考能力を要求する問題へと変化しています。通常の定期試験では国家試験よりも難しい問題を出していますが、丸暗記してきた人は、今後はその対応が困難になるかもしれません。やはり、日頃の勉強をコツコツと実施する事

図 1 国家試験対策科目(理学療法総合演習)での単位認定方法



が改めて要求されています。

今回の結果を踏まえて国家試験対策委員会を開催し、今までの取り組みに加えて、4回生の早期からの国家試験準備促進、ゼミ担任による指導強化、業者による模擬試験の回数増加、後期開始時の模擬試験結果の保護者への郵送と解説、卒業生の国試成績優秀者による体験談と質疑応答、模擬試験結果の悪い学生に対する課題提供、個別指導などを実施予定にしています。さらに、4回生後期の国家試験対策科目である理学療法総合演習では、図1のフローチャートに従って単位認定していく予定です。次回こそ、100%の合格率を達成したいと強く思っています。

2012年3月 国家試験結果資料

第47回(2012年3月) 国家試験結果 理学療法士養成課程(近畿地区抜粋)								近畿大学の難易度(科目別)抜粋(※※※)				2012.4.1現在	
＜国立大学＞				＜私立大学・短大＞				＜専門学校＞					
	昨年度 受験者数	受験者	合格率		昨年度 受験者数	受験者	合格率		昨年度 受験者数	受験者	合格率		
京都大	20	14	14	100.0%	兵庫医大	21	31	100.0%	清見会第二医療	15	13	100.0%	
神戸大	20	21	21	100.0%					神戸医療	17	9	94.1%	
大阪府立大	22	24	24	100.0%	姫路理信大	43	41	97.8%	大坂大リハビリ	74	54	98.1%	
					神戸学院大	50	53	51.0%	関西商医歯科	30	29	28.9%	
					大阪商大通大	45	23	22.7%					
					鹿央大	65	67	94.9%					
									大阪物産	69	39	37.9%	
					信成大	45	34	94.1%	奈良大リハビリ	29	17	16.9%	
					甲南女子大	50	67	92.5%	大阪療養福祉	72	68	92.6%	
									平尻リハビリ	52	63	58.9%	
									奈良中央大リハビリ	20	38	95.1%	
									近江看護専門学校	31	28	90.3%	
					大阪府崎川大	62	38	89.5%					
					聖野大	85	77	87.7%	京都医療	47	43	87.0%	
									神戸総合医療	47	34	29.83%	
									近畿大リハビリ	46	61	82.82%	
									関西看護	67	62	91.8%	
									行田大リハビリ	68	60	49.81%	
									神戸医療福祉三田校	27	27	81.5%	
									関西看護学園	30	37	30.81%	
									ハーベスト看護福祉	24	35	28.80%	
									関西総合リハビリ	27	24	19.79%	
					関西医科大学	42	44	35.79%					
					四国女子短大	34	28	78.6%					
					関西学院大	30	38	29.76%					
					新日本医大	52	59	43.72%					
									関西学研医療福祉	24	22	16.72%	
									大阪専修	132	101	71.0%	
									神戸大リハビリ福祉	28	20	14.70%	
平均	62	59	59	100.0%	643	600	532	88.7%	993	886	758	85.7%	

受験者数比較 2012/2011 95.2% 受験者数比較 2012/2011 94.1% 受験者数比較 2012/2011 89.2%

※昨年大きく下げた合格率は2009年と異なったものの、一昨年のレベルには届いていない。また、受験者数の減少、たき成高校が目立つ結果となっている。

Kio元気塾 中間発表会を実施しました

6月末から7月初めにかけて、Kio元気塾の中間発表会を実施しました。

『Kio元気塾』とは、近隣の病院を退院された方々に対して、教員と学生が運動の指導を行う取り組みで、学生の実践的な教育の場でもあります。学生は授業で得た知識を総動員し、参加されている方々の障害を評価し、教員の指導のもとにより効果的な介入を実践するという過程を経験します。

今回の発表会は、理学療法学科3回生が、参加されている7名の方の評価および介入計画を発表し、学生同士の議論と

教員の助言によって、これまでの内容を確認し今後の計画を考えるという目的で

学生は実際に障害をもっておられる方々の評価および介入はもちろん、こういった方々に接することも初めてであり、当初は正確な検査も実施できない状況でした。しかし、発表会では不十分な点ではありますが、我々教員の予想をはるかに上回る内容の発表ばかりで、良い経験そして学習に繋がっていると実感できました。



メッセージ

看護医療学科
学科長
伊藤 明子



今春、初めての卒業生が巣立ち、看護専門職として希望の進路に進むことができました。一重に保護者の皆様方の暖かいご支援とご協力の賜と心より感謝申し上げます。

はじめて国家試験受験に挑むにあたって、学生は勿論、教員も大きな不安がありました。しかし、1期生が4年間で築いてくれた学習環境や雰囲気づくりは、確かな実績として後輩に伝わっているように思います。最近、大学を訪問してくれる卒業生からは、苦労している様子も垣間見ますが、職場の方々にしっかり支えられ励まされて、明るく元気で頑張っていると感じます。これからは、卒業生がこの大学を支えてくれるようになるのと力強く思います。看護教育にとって最も重要な学びの場である病院で、先輩と出会う機会があることに大きな喜びと期待を寄せる次第です。

さて、少子・超高齢化社会を迎え、医療

制度はさまざまな立場で見直されています。とりわけ、医療従事者の半数以上を占める看護職に対する社会の期待は大きく、看護基礎教育の充実を図るための法改正も行われ、専門職としてキャリアアップできる基礎基本が重視されています。本学科においても、チーム医療で活躍できる連携能力、確かな実践能力を身につけ、そして、人にかかわる職業に就きたいという共通の目標をもつキャンパスでの学生生活を通して、人間性豊かに育てて欲しいと教員一丸となって努力を重ねています。

今後とも保護者の皆様方には変わらぬご支援ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

1期生が切り開いた国家試験への道を踏み固めつつあります

国家試験対策としては、まず、模試は右の表に示す通り4年間の計画を立て実施しています。3回生の3月からはe-learningにより過去問を携帯電話等で学習できるようにし、5月末までにほぼ全員が1200問全部を解答しています。学外講師による模試解答解説会等も実施しました。また、3回生の前期には必修科目として「基礎医学総合演習」を開講し、合否を決定するといわれる基礎医学の知識の強化を図っています。さらに、今年4月よりスタディサポートセンターに看護師国家試験対策を担当する専門の職員を配置しています。学生への直接の受験指導はゼミ担当が行うとともに、スタディサポートセンターとクラス担任がケアする全学的体制を取っています。加えて、国家試験対策の自己学習をサポートするために、23時まで使用できる自習室を確保しています。

3回生後期から始まった臨地実習も7月

中旬で終わり、現在、就職活動と受験勉強をしながら、9月28日締め切りの卒業論文の作成に励んでいるところです。6月の全国模試の成績については、学科全体の全国順位は中間くらいですが、合格圏内にいる学生と厳しい学生の差が大きくなっており、特に必修問題を80%以上得点している学生は極わずかでした。今年度から、各模試終了後に自己採点をし、その結果を学内のネット上のファイルに入力する新システムも導入しています。自己採点で誤答した問題については、スタディサポートセンターにレポートを提出し指導を受けることができます。また、成績の振るわない学生には面談したり、夏休みの補講を計画するなど、あと半年に迫った国家試験に向けて叱ったり誉めたりしながら合格に向けてサポートしたいと思います。ともかく2期生も、1期生に引き

国家試験対策マスタープラン

回生	時 期	看護師・保健師国家試験対策
1 回生	前期	
	後期	国家試験対策説明会
2 回生	前期	4月 分野別模試（人体構造機能学・感染免疫学・基礎看護学）
	後期	9月 分野別模試（病理病態学・薬と健康）
3 回生	前期	4月 基礎学力テスト
		6月 必修問題・専門基礎科目
	後期	10月 保健師模試
		3月 看護師・保健師e-learning
4 回生	前期	4月 分野別模試（人体構造機能学・感染免疫学・基礎看護学）、基礎学力テスト
		6月 第1回全国公開模試
		8月 第1回国試対策テスト
		9月 分野別模試（薬と健康）
	後期	10月 第2回全国公開模試
		11月 第2回国試対策テスト・保健師模試
		12月 チャレンジテスト
		1月 第3回全国公開模試・保健師模試

続き、全員が国家試験に合格するよう、学科教員全員で取り組んでいきますので、ご家庭におかれましてもご協力のほど、よろしくお願いいたします。

「災害看護論」で現場そのものを実感しました

災害看護論の授業で国内外の災害緊急援助で活躍されているNPO法人TMATの方々に来ていただき、講義を受けました。特に印象に残った内容は、トリアージ演習でした。トリアージとは、災害医療において、最善の救命効果を得るために、多数の傷病者を重症度と緊急性によって分別し、治療の優先度を決定することです。5人の模擬患者さんの中から緊急度・優先度の高い方3人を選ぶという内容でした。模擬患者役の方は、やぶれた服を着ていたり、体に怪我のペイントをしていたりしていました。それにより、災害現場という非現実的な環境を現実的なものとして考えながら演習に臨むことができました。また、呼吸が激しかったり、「私を先に助けてください」と叫んでいたりと、より現実的な環境になるようにさまざまな工夫がされていました。

今回の講義では、災害現場における緊迫した空気や、混乱した状況など、座学では学びにくい部分を学ぶことができました。また、災害現場で活躍する看護師に憧れを抱き、将来自分もそのような看護師になりたいと考えたようになりました。（参加した4回生の上國料一康君の感想です。）



メッセージ

健康栄養学科
学科長
北田 善三



保護者の皆様には、日頃より本学科の運営にご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

本学科にとっての今年最大の話題といえ、今春実施された管理栄養士国家試験において受験した六期生全員が合格したこと

です。個性豊かな学生達でしたが最後には決めてくれました。全員に金メダルをあげたい気持ちです。

さて、本学の建学の精神は「徳をのぼす 知をみがく 美をつくる」です。まず、徳をのぼすという意味では、学生達は素直で心根の優しさを持ち合わせています。その上に本学で4年間を過ごすうちに小さな徳をたくさん積み重ねていきます。入学の頃にはとがっているように見えた学生も卒業の頃には、こんなにいい子だったんだと思わせるほど徳をのぼしていきます。

知をみがくという意味では、なんといっても国家試験です。4年間で学んだ専門科目のほとんどが試験範囲です。過酷なまでの学習を繰り返し、卒業する頃にはすばらしい知識を身につけています。学習するこ

との喜び、そして学習することに対する自信さえ身につけるようになります。

美をつくるという意味では、学生達はほんとうに豊かな感性を持っています。本学の建物の構造上学生とよく顔を合わせますが、そのたびにきっちりと挨拶をしてくれます。それも心からのものであることが伝わってきます。また、学内にごみが落ちていません。学生達が無意識のうちに美しい環境を作り出しているのです。きっとそれは学生達の心を反映していると思います。誇れる学生達です。

今後も建学の精神を念頭に置きながら学生指導にあたって参りますので、保護者の皆様方のご支援、ご鞭撻をよろしくお願い致します。

国家試験対策について

去る3月18日に第26回管理栄養士国家試験が実施されました。本学では今春に卒業した健康栄養学科の六期生72名のうち68名が受験し、全員が合格し、開学以降初めて合格率100%を達成することができました。一方、全国では管理栄養士養成課程の新卒者7,946名が受験して7,277名が合格し、合格率は91.6%でした。昨年の合格率が82.1%でしたので、今年は少し難易度が低下したと考えられます。しかしながら、既卒者の全国合格率は29.1%であり、新卒者のおよそ1/3です。このことから、働きながら勉強して合格を目指すことがいかに難しいかが窺えます。在学中にしっかり

勉強して、万全の体制で卒業時の試験に臨むことが合格への一番の近道です。

管理栄養士国家試験の出題範囲は大変広く、大学4年間で習った専門科目ほぼすべてといって過言ではありません。早い時期から意識を持って勉強に取り組んでいくことがとても大切です。健康栄養学科では2回生学年末に総合対策演習Ⅰ（集中講義）、3回生学年末に総合対策演習Ⅱ（集中講義）を開講し、これらの演習を通じて国試の難易度を認識させ、危機意識を持たせます。国試に向けた勉強が本格化する4回生では、特別演習Ⅰ（前期）および特別演習Ⅱ（後期）を開講しています。これらの授業では、

専門科目を担当する学科教員が毎週講義や演習を行い、これまでに習った専門分野の内容を復習するとともに、その知識を用いて国家試験形式の問題を解く力を身につけていきます。また4回生の夏休みには、受験対策を専門とする講師を招いて集中講義を行います。また、これらの授業と並行して繰り返し模擬試験を実施し、弱点を確認するとともに試験問題の復習を通じて学力の向上を図っています。

しかしながら、これらの国試対策が効果を上げるかどうかは本人のやる気次第です。やる気を育むよう、厳しさだけでなく暖かさも兼ね備えた指導を心がけていきたいと思っています。

「かしはらスイーツレシピ開発プロジェクト」学内コンペ

橿原商工会議所と健康栄養学科が連携し、物産・観光に寄与する食の商品開発をめざす取り組みも今年で4年目になりました。4月から橿原の文化歴史・農産物を学ぶ勉強会、史跡・町屋見学、プロの職人さんによる和洋スイーツ作りの手ほどきを経て、7月7日（土）に最終段階の学内コンペを行いました。参加した1～3回生18グループ58名は過去最多の人数でした。昨年と同数の20作品でしたが、内容は年々レベルアップしています。プレゼンテーション力、ネーミング、見た目、味、食べやすさ、作りやすさなどの審査項目を評価し、表彰作品を決定しました。いずれもレベルの高い作品の

中からグランプリ賞を絞り込むのが難しく、今年度はグランプリ賞該当なしとして、優秀賞3作品、佳作3作品が選ばれました。



【優秀賞】Jewelどら焼き～和(なごみ)～（大和茶入り葛粉ゼリーと粒あん入りのどら焼き）



【優秀賞】びーなす（なすのコンポートが入った米粉マフィン）



【優秀賞】大和の贈り物（ほうれん草、アスパラ、大和茶のかりんとう）



メッセージ

人間環境デザイン学科
学科長

三井田 康記

平素より、本学の教育にご理解、ご支援を賜り、ありがとうございます。

前期試験も設計などの課題の提出も終わり、試験勉強や課題の制作に夜遅くまで、



製図室で図面台に向かって頑張っていた学生も急に姿が見えなくなりました。

大学に入学したばかりの頃は幼く見た1回生も、半年過ぎると、大学生活にも慣れ、授業にもぎやかさを増してきました。2回生、3回生は、製図台の使用にも慣れて、まるで自分の部屋の一部でもあるかのように、製図に、勉強に楽しく製図室を使ってくれています。また、2回生、3回生の多くは夏休みに企業インターンシップに出ます。この授業は、それぞれの希望に応じて、2週間ほど企業で就業体験をするというものです。実際の仕事を体験することで、周りから寄せられる期待の大きさ、自分の立場、自分の未熟さ等を感じるようです。

インターンシップから戻った後の成果発表会では、各自の意気込み、反省などを踏まえ、見違えるほど立派な姿を見せてくれます。後期からはいよいよプロジェクトゼミも始まります。

一方、4回生は、大学4年間の集大成としての卒業研究がスタートします。今年度は、平成25年3月2日(土)、3日(日)の2日間、奈良県庁の西隣りにある「奈良文化会館」のギャラリーで卒業作品展を開催する予定です。4回生のご父兄はもちろんのこと、下級生のご父兄の皆様もぜひ足をお運びください。学生の成長に驚かされるに違いありません。

資格取得へ対策をすすめています

人間環境デザイン学科では、コースごとに在学中に取得を推奨している資格があります。

建築・まちづくりコースではみんなが目指すもっとも大きな資格は建築士です。この資格は所定の単位を取得すると、卒業と同時に2級建築士受験資格、また2年の実務経験を経て1級建築士の受験資格が得られます。本学では4回生の卒業前に学内で2級建築士へ向けた対策講座を希望者対象に開講しています。資格専門学校との提携によって、卒業後も進路先の近くで引き続き講座を受け、卒業後すぐに控えた2級建築士学科試験に備えることができます。その結果、卒業生から2級建築士取得者が11名になり、今年受験した卒業生からも2名が学科試験に合格したと報告がありました。

きっとそのうち、1級建築士になったと卒業生からうれしい報告があることでしょう。

インテリアデザインコースではインテリアプランナー登録資格、インテリアコーディネーターなど、さまざまな資格取得を推奨しています。昨年度、はじめて在学中にインテリアコーディネーターを取得した学生が誕生しました。またさらに在学中の資格対策としてはインテリア設計士の対策を授業科目の中で行っています。例年ほぼ100%の合格率で、今年も16名中15名が合格しました。

造形デザインコースでは幅広いデザインに関する学びをしています。その中でも大きな資格は中・高校教諭一種免許状(家庭)です。実際の庭科教諭への就職は倍率が高く、なかなか難しい現状ではありますが、



本学から静岡県の中学校教諭1名、大阪府立高校教諭1名が見事採用試験に合格し、立派に先生として頑張っています。そのほか、宅地物件取引責任者資格や福祉住環境コーディネーター、色彩検定など、在学中に取れる資格を各自で勉強に励んでいます。

将来のため、目標のため、想いは様々ですが4年間の学生生活をチャレンジ精神旺盛に学生はがんばっています。

旧郵便局コンバージョンや駅前広場改修に取り組んでいます

三井田先生とプロジェクトゼミ生10名が、御所市と協力し、名柄の旧郵便局の改築計画と駅前広場改修に昨年夏から取り組んでいます。

現在まで、数十年間放置されていた約100年前に建設されたと推定される旧郵便局。地域の人の懐かしい時代の象徴として愛されています。三井田ゼミの学生からは、お年寄りの憩えるコミュニティ施設としての改築案を御所市に提示しました。学生にとっては初めての実施設計。苦労もありましたが、

御所市役所からは好意的に捉えられ、現在どのように実現させていくか検

討中です。

さらに、同じく御所市役所から近鉄御所駅の改修計画についても相談を受けました。こちらはまったく新しい駅舎と駅前広場ですが、和洋折衷のデザインで、新しい御所市の顔になるのではと郵便局と同様に好評でした。

今後も地域住民の方々のニーズを受け止めながら地域の古い建物の改修や新たな景観を生み出す地域計画を進めていきたいと血気盛んです。



メッセージ

現代教育学科
学科長
安井 義和



本学後援会の皆様には、常日頃より現代教育学科の教育・研究活動にご理解とご協力を賜り、心よりお礼を申し上げます。

7月の七夕の当日に開催されました後援会総会・現代教育学科懇談会・懇親会には多くのご参加を賜り、有り難うございました。限られた時間ではございましたが、学長が常に心掛けておられます「FACE TO FACE」が実施できたのではないかと思います。

アンケートを通じての皆様方からのメッセージは大変有り難く思っていますが、やはり、顔を見合わせてのやり取りには適いません。アンケートの中で、「大学での子どもの様子を知りたい」が一番多かったと思います。もちろん、大学生は大人だから、「子ども任せ」も一法だとは思いますが、

懇談会では担任なりとの会話で学生の情報を少しでも伝えられたのだと思っていますが如何でしたでしょうか。このようなことがきっかけで保護者と大学との距離がより近くなることを願っています。

現代教育学科教員は言うに及ばず、大学全教職員が一致団結して、学生の目的実現のため、めざす進路の確保のため、サポートしていきたいと思っています。今まで同様、皆様のご理解・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

今夏は殊の外、茹だるような暑さが続いています。どうぞご自愛下さいませよう。

みんなで一丸となって

平成24年度は、123名の学生が教職に、12名の学生が一般企業に進みました。教員採用試験は、小学校教諭は84名が受験して52名が最終合格。合格率は61.9%と昨年度を上回る好結果となりました。また、養護教諭は19名のうち6名が、公立幼稚園・保育士は8名中7名が合格を果たしました。私立の幼稚園・保育所にも12名が就職しました。

畿央大学の合格率の高さは、学生と教職員、保護者の皆さんが、一丸となって取り組みを進めているところにあると思います。



今年も、春の訪れとともに、C棟、E棟のゼミ室や教室、図書館に、教員採用試験や幼保公務員試験を受験する学生たちが集まり始めました。いよいよ自分たちの番だという意気込みが感じられるところです。

やがて、朝早くから夜遅くまで、連日、連夜、勉強に打ち込む姿が見られるようになります。例年の光景です。一次試験が近づくとつれ、多くの学生が真剣な眼差しで机に向かいます。

試験を直前に控え、不安感も並大抵のものではないでしょう。友達同士で励まし合い、教職員や先輩、後輩が支える中で、気持ちを何とかつなぎ止め、最後の仕上げに取り組む姿は、愛おしく感じられます。また、自己アピール文や面接対策などで自分を改めて振り返り、教職への強い思いを再確認するのもこのころです。教職員のもとに相談や質問に行く学生もいれば、後輩のために休日に駆けつけてアドバイスをして



くれる先輩もいます。それぞれの家庭でも、多くの支えをしてくださっていることでしょう。

そして、意欲と自信を高め、試験に臨んで行く顔は、凛々しく頼もしい限りです。

このように、みんなで一丸となり、夢の実現をめざす学風こそが、畿央大学の財産であり宝です。

これからも、みんなで一丸となり、難関を突破していきたいと思います。今後とも、保護者の皆様の応援を、心よりお願い申し上げます。

卒業生による「養護教諭の座談会」と称した勉強会を開催しました

8月4日(土)の午後、本学を卒業した1～3期生の現役の養護教諭13名が畿央大学に集まりました。卒業生が自ら企画・実施している勉強会の特別企画として実施されたものです。今回は、近畿各地の小学校、中学校、高等学校、支援学校のそれぞれの学校現場で、自分1人か多くても2人という少数の立場で職務をこなしている卒業生同士が、日々直面している様々な課題について情報交換をし、力量アップをしようという試みです。

テーマは、「学校保健委員会の企画・運営について」「ヒヤリ・ハット・救急処置」「管理職や校医さんとの付き合い方」「養護教諭として力を入れていること」など現場ならではの課題で、とても活発な情報交換会になりました。また、岡本啓子先生や古川恵美先生も参加してくださり、助言をしていただきました。さらに、この試みは、1～4回生で養護教諭を

めざす学生にも声がかけられ、15名の学生が先輩たちの話合いを真剣に聞き入っていました。

今年度は、畿央大学現代教育研究所も開設されます。さらに、有志で集まり、勉強会をしているチームもあります。奈良馬見の地で共に学んだ同窓生がこうして集まり、自分たちの力を磨く試みがどんどんと行われていくことを期待しています。



担任からのメッセージ

畿央大学の担任制度は、教員が担任として学生との人格的な接触をはかり、学生生活全般の指導を行うことによって、建学の精神を身につけた有為な人材を養成することを目的としています。

健康科学部は学科ごとに2～4クラスを編成し各クラスに1名、教育学部はコースごとに1～4名の担任を置くことにしています。健康科学部4回生、教育学部3・4回生は卒業研究の指導教員がゼミ担任となります。

担任の役割は、「学習指導」「生活指導」「進路・就職指導」「学

生の危機管理」が主なものですが、学生一人ひとりの状況を系統的に把握していくために全学年において年2回の全員面談を実施しています。また、学生の求めに応じ、また必要性が生じた時には随時に面談を行うこととしています。

健康科学部1～3回生担任、教育学部1・2回生担任からメッセージを寄せていただきました。

コメントの内容

- ① 前期面談を終えて、担当している学生の様子、良い面、心配な面
- ② 担任として心掛けていること、保護者をお願いしたいこと



理学療法学科1回生担任
峯松 亮

① 学習目標として、すべての学生が単位を落とさない、留年をしないということを挙げており、そのために、多くの学生は復習をしたり、分からないことを質問したりできているようです。また、部活、サークル活動にも参加し、大学での縦横のつながりをつくり、有意義に過ごしているように思います。ボランティア精神も旺盛に感じます。一方、通学時間の増加や課外活動、アルバイトのため寝不足を訴える学生もいます。学生生活をより実りあるものにするために、時間をうまくやり繰りし、何より健康に気を使ってほしいと思います。

② 私は学生の自主性、主体性を重んじております。保護者の皆様には、ご子息が「自立、自律」できますよう、身体的・精神的健康を維持できるようサポートをお願いしたく存じます。



理学療法学科1回生担任
高取 克彦

① 入学後約1ヶ月半が経過した5月中頃から6月上旬にかけて、クラス全員の個人面談を実施しました。驚いたことに、クラスの学生ほぼ全員が「大学生活は楽しい!」とはっきり答えていました。私自身、久しぶりの担任ですが、「理学療法士になる」という共通目標を持つ者同士、予想以上に強い結束力がこの時期に生まれている事は非常に嬉しく思いました。クラス全員が4年後にプロの理学療法士となって社会に行ける様に全力でバックアップして行きたいと思えます。

② 私は一回生の授業を担当していないことから、今年度は比較的学生達との関わりは薄いかもかもしれませんが、まずは勉強、就職、人生相談etc. 何でも気軽に研究室に聞きに来てもらえる雰囲気づくりをしていきたいと思っています。



理学療法学科2回生担任
冷水 誠

① 2回生となり、部活にサークルそしてバイトに充実した生活を送っているように感じる学生が多いです。勉強については多くの学生が、より専門性が高くなり1回生の時の学習不足を感じているとの意見が多く聞かれます。この時期から、難し

いながらより興味を持って学習が出来る学生と、やや諦めがちになっていき学習が進まない学生に分かれていっているように感じます。ただ、昨年度にもここで書いたのですが、この学年は仲間同士のつながりが強いと感じていますので、学年全体で良い方向に進んでいくことを期待しています。

② 私の経験上、この時期は学習内容の難しさと専門性の増加で学習が進まずに、自分自身の進路を見直す学生が増えてくるように感じます。面談等で話はするのですが、なかなか本音を語ってくれない学生もいます。ご家庭でも、大学生活や学習状況について気に掛けていただければと思います。



理学療法学科2回生担任
松本 大輔

① 2回生になり、アルバイトやサークル等の両立にも慣れてきたようです。授業では専門科目、特に実習科目が増えたことで、むしろ理学療法士になる、というモチベーションが高まり、実技試験のために放課後や土日でも学校に来て勉強、練習をしている学生が多くなっております。しかし、中には理学療法士になるというイメージができず、悩んでいる学生もいます。

② 授業以外での学生への声かけや、授業以外で理学療法にふれられるような機会の紹介などをしております。保護者の方々をお願いしたいこととして、生活面だけではなく、心理面でのサポートとして、学生本人の気持ち(進路など)を聴く機会を作っていただければと思います。



理学療法学科3回生担任
前岡 浩

① いよいよ3回生となり、全体的に授業や実習への不安が高くなりつつあると思います。授業ではこれまで以上に1、2回生で終了した科目を「復習しないといけない」と焦りも含んだ発言が見られます。少しずつでも実行することで余計な焦りが解消される部分もあるかと思えます。また、日々の授業にどれだけ真剣に臨むことできるかが重要とも伝えていきます。3回生はいろいろ大変かと思いますが、着実に前に進んでいることを喜びとして乗り切ってもらいたいと考えます。

② 3回生になり、忙しい中でもクラス内で協力して、勉強などに取り組んでいる様子を見ると良い雰囲気ではないかと感じています。

今後も学生が自身で悩みながらも前進できるようサポートしていきたいと考えています。



理学療法学科3回生担任
岡田 洋平

① 3回生になり専門的な科目も増えてきていますが学生さんからは、勉強が楽しくなってきたという声が多く聞かれました。スポーツ分野のリハビリに興味をもつ人、子供のリハビリに興味をもつ人、回復期のリハビリに興味を持つ人など少しずつ将来像を明確にもつ人も出てきています。まだ将来像がぼんやりとしている人も実習に行き、またゼミでの活動を通じて具体化していくと思うので心配しすぎることはないと思います。

② 学生さんの状況は本当に人それぞれなので気軽に話せる関係づくりを心がけています。また学生さんの変化に敏感でいたいと思っています。



看護医療学科1回生担任
神戸 美輪子

① 面談が連休明けの時期だったためか「しんどい」と疲れを訴える学生が多くいたことが気になりました。看護を学ぶ喜びよりも、そのレポート課題をこなす大変さの方が勝っているという感想も出てきて驚いたりもしました。全体的には体力と気力が不足気味かなという印象です。その一方、しっかり学習して看護師になりたいという思いや、支えて下さっている保護者への感謝の気持ちも口にしていて、素直な良い面も見せてくれました。

② 4年間の学生生活では、自分の目標をしっかり見据えて成長してほしいと思います。集中して学習するためには、体調管理やストレスへの適切な対処が必要です。何か困った時などは担任をはじめ周囲の大人に相談してほしいと思います。



看護医療学科1回生担任
松本 泉美

① 面談では、生活リズムや環境が大きく変わったことに戸惑いがある様子でしたが、学習内容の難しさを実感し、勉学に真剣に取り組もうとしていることがうかがえました。また、憧れの大学生活を謳歌したいとの思いも強く、クラブやサークル活動にも大変意欲的です。気になることは、ア

ルバイトを週に3日以上、それも深夜近くまで行っている学生が少なくないことです。睡眠不足で遅刻したり、授業中に寝ている学生を見受けるのも事実です。大学の授業の進行は高校よりも早いですから、まずは授業に出席して、その都度理解することに重点を置いて実りのある学生生活を送ってほしいと思います。

② 担任としては、友達関係や学習・進路で心配事や悩みがあるときは、遠慮せずに教員に相談すること、大学内の相談部門を利用して、一人で悩むことのないようにと説明しています。ご家庭でもさりげなく「最近どう？」とお声をかけていただき、話しやすい雰囲気を作っていただくことをお願いしたいと思います。



看護医療学科1回生担任
南部 登志江

① 入学したころは緊張していた学生も、5月の面談のころには新しい友人もでき、クラブやサークル、畿央祭実行委員会などに入り、希望とやる気を持ってきたようです。最近は、学習の進度の速さと量の多さにへとへとになっているようですが、表情はきりりとしてきました。

② 8月には最初の実習であるふれあい実習を体験します。緊張と身体の疲れでストレスも高くなると思いますので、保護者のかたにはゆっくり休むことができ、朝食も摂れるようご協力をお願いします。



看護医療学科1回生担任
須藤 聖子

① 学生は、大学生としての学び方に戸惑いつつも、将来の目標に向かって前向きに課題に取り組んでいます。学生同士お互いが学び合う姿勢もみられていますので、今後も専門的な知識・態度・技術を身につけて成長してほしいと思います。

② 学生には、大学生のこの時期に自分で考えて主体的に行動できる力を身につけてほしいと考えています。そのために、時には厳しく接することもあります。できるだけサポートしたいと思います。ご家庭では、今後も温かく見守ってくださるようお願いいたします。



看護医療学科2回生担任
河野 由美

① 面談時に多くの学生さんが、「2回生から急に課題が多くなって大変です」と言われていました。しかし、2回生は4年間の中で時間的にも精神的にも最も余裕のある時期だと思います。実際、3回生以上の学生さんは2回生の時が一番楽だったと言われます。2回生の今の時期、大学生活を楽しみながらも、時間配分を考え、規則正しく勉強する事を習慣化し、しっかりと基礎学力をつけておくことが、今後に大きく役立つと思います。

② 担任としては、学生さんの自主性を尊重し、主体的に行動できるように、見守る姿勢を心掛けています。本学科ではグループワークや演習が多く、人間関係に悩む事や、精神的・時間的負担を感じる事も少なくないと思

います。保護者の方におかれましては、特に健康面へのご配慮を頂けると幸いです。



看護医療学科2回生担任
小林 智子

① 昨年度末に基礎看護学実習を経験し、一回り成長できたような気がします。自分の未熟さ、無力さを感じた一方で、看護職への強い意志を確信できたのではなかったでしょうか。2回生は唯一、臨床に出かける機会がないためか、緊張感がなく中だるみの状態になりがちです。専門科目もどんどん増えていますし、国家試験は遠い先の話と捉えず、いま一度気を引き締めて学習に取り組んで欲しいと思います。さらなる成長を期待しています。

② 後期から直接関わる機会が減りますが、声かけ、あるいは見守りながら、学習や学生生活を支援していきたいと思います。からだはもちろん、心の健康管理について本人に任せておりますが、ご家庭においてもご支援賜りますよう、よろしくお願いいたします。



看護医療学科2回生担任
乾 富士男

① 2回生になってだいぶ大学生らしくなってきた印象です。しかし、学習面では目先の成果(試験の点数が良い、実習でうまくいくなど)にこだわる人が多い印象です。大学の学習では、学んだことを基にいろいろと考えて、自ら行動して、時には失敗して、というように試行錯誤することが大事なのではないかと思います。何事も無難に要領よくこなすのではなく、いろいろなことに果敢に挑戦してもらいたいものです。

② 2回生はいろいろな意味で分かれ道かなと思います。謙虚に学問をした人やいろいろな経験を深めた人は4回生や卒業後に伸びると思います。とりあえず目先の勉強だけをした人は将来が不安です。ということ伝えていきます。



看護医療学科2回生担任
堀内 美由紀

① 毎回の授業を大切にしなければならぬと皆それぞれに自覚はしていますが、集中力が続かないこともあるようです。また、友人関係で悩んだり、進路で悩んだりといった様子が見受けられる学生もいます。集中力を維持するために悩みを抱え込みすぎないよう学習状況を確認するなど声を掛けていきたいと考えています。

② 専門科目が増え勉強も難しくなってくる一方、大学生活に慣れ交友関係が広がって、大学を離れてからの時間の使い方に悩むところだと思います。食事や睡眠、生活リズムや運動習慣など、自己管理が出来ているか、気にかけてあげてください。



看護医療学科3回生担任
船瀬 孝子

① 臨地実習が後期から始まるため、今まで経験したことがない多くの課題に取り組んでいます。それらの課題に取り組む中で、自己の課題が明らかになり不安

を持つ一方、将来の夢の実現のために頑張っていきたいという思いは強く、自分の進路や資格取得についても、より具体的に考え始めています。臨地実習を通して大きく成長してくれることを期待しています。

② 学生さんに出会った時は、声をかけコミュニケーションをとるようにしています。また、学生さんの悩みや相談ごとに対しては、一人一人を大切にしながら対応しています。保護者の方にも必要時には連絡をとらせて頂きたいと思っています。



看護医療学科3回生担任
畑野 富美

① 3回生になり、より専門的な科目も増え、演習授業では具体的な看護の実践方法について学習し学びを深めることになりました。課題も多く、大変だったかと思いますが、課題への取り組みを通し、これまでの学習方法の見直しや今後の国家試験に向けた学習方法等について考える機会としている学生が多数いました。後期からは臨地実習中心の生活となります。体調管理とともに学習を含めた時間管理に自主的に取り組んでほしいと思います。

② 後期は臨床実習中心の生活になります。これまでのような大学での講義とは違い、生活リズムの変化、実習への不安等により心身ともに体調を崩しやすくなるかと思うので、温かいご支援をお願い致します。



看護医療学科3回生担任
林 有学

① いよいよ後期から始まる臨地実習を目前に控え、多くの課題に「大変だ」と言いながらも真剣に取り組んでいる様子がうかがえました。また、自分の興味のある分野や将来進みたい進路についても意志が固まってきたようで、目的が明確になってきているようです。どの学生も臨地実習に対する不安があるようですが、充実した学びとなるよう期待も大きく「頑張りたい」と前向きな様子に、成長が楽しみだと感じました。

② 後期の長い実習期間中、学生は落ち込んだり、悩んだりすることが必ずあると思います。どうぞ学生の力を信じて暖かく見守り、応援してあげてください。担任は、いつでも相談できる存在で学生を支援していきたいと思っています。



看護医療学科3回生担任
廣金 和枝

① 新しく着任し、初めて個々に面談させていただきました。就職活動、臨地実習、国家試験のダブル受験、卒業研究のことなど、3年後期から卒業までの過密スケジュール突入に向け、いろいろと想いを巡らせていることが分かりました。しかし、不安を表す反面、それで終わっている学生の多いことが気になりました。社会にでていくことを見据えて、今、自分がなすべきことをたくましく貪欲に探っていく強さを、少しずつ身につけてほしいと思います。

② 担任として、学生さんの成長をサポートしていきたいと思っています。臨地実習では、家族と話す気力も残らない程、疲れて果て

帰宅されることが多くなると思います。暖かい食事を用意して、見守っていただければと思います。



健康栄養学科1回生担任
浅野 恭代

① 1回生とは宿泊研究のときに初めて話をしました。クラス紹介のときに全員がいる中で、質問がでて同じ趣味の人と話ができたり、活発な応答がありました。初対面のこの時にこのような応答ができる学年は初めてだと先生方の中で評判になりました。今年の学生たちは物怖じしないで、自分の意見を発表できる人たちだと思います。栄養士は様々なところで人と関わりを持つ仕事です。知識だけでなく、多くのことを学んで欲しいと期待しています。

② 授業がないとあまり話ができないので、いつでも研究室に遊びに来てくださいと声をかけています。保護者の皆様には、成績だけでなく多くのイベントやボランティアでの活躍話を聞いてあげてください。ホームページもご覧ください。



健康栄養学科1回生担任
林 京子

① 初めての担任で、慣れない状況で迷惑をおかけすることも多々あるかと思いますが、今春、厳しい受験をくぐって入学した1回生の学生は、本当に真面目で、前期は、それぞれが、大学生活に慣れるのと、大学生活を充実したものにしようと、全員が頑張っていました。しかし、あまりにも、バイト、クラブ、勉強にと頑張るすぎて、疲れが見え始めてきた学生もみかけられます。また、これからの学生生活にとって、夏休みから後期が大事だと考えています。

② 教員としての役目はきちんと果たしたいと思っていますが、私と一緒に、親御さんも、時には厳しく、かつ暖かく、子どもさんが、自主性を持った、一人の人間として、大学生として成長できるように、見守っていただけたら幸いです。



健康栄養学科2回生担任
高野 康夫

① 健康栄養学科2回生の1クラスを担当しています。今年は5月上旬から6月中旬にかけてクラスの個人面談を行いました。前年後期末試験結果に関してはほとんどの学生が「悪くはなかった」との評価をしていました。これからは成績の結果表現として各自が「良かった」と言えるように助言し指導していきたいと思っています。多くの学生は向学心に燃え、次回に繋がる言葉を聞きますので、以後期待したいと思っています。将来の進路については、ほとんどの学生が漠然として方向性を決めかねている状態でした。

② 大学での就職関連の情報発信はこれから多くなっていきますが、家庭においてもお子さんの将来について話し合える時間を設けて共に時間を共有して頂けたらと思います。



健康栄養学科2回生担任
喜多 雅子

① 2回生になって、授業が専門的になり、レポート提出も増えたことから、勉学に励む毎日を送っております。また、学内の各種プロジェクトやボランティア活動に積極的に参加している学生もあり、毎日忙しくしています。しかし、学習意欲はありながらも深夜早朝のアルバイトで、勉学が思うようにはかたらない学生もおります。なかには基礎的な科目に対して苦手意識を持っている学生もあり、対応が必要と考えております。

② 学生が自立した考え、行動が取れるように適度な距離感を保ちつつ支援しています。また、将来に視点をのいたアドバイスを心がけております。保護者の皆様には、温かく見守り、学生の日常を気にかけていただければと思っております。



健康栄養学科3回生担任
岡崎 眞

① 3回生の前期も終わりに近づいて、そろそろ真剣に就職活動のことも考えなければならない時期になりました。

また、ほぼ1年後となった、本命の管理栄養士国家試験のことも気になりました。今年の4回生の就職活動が好調なので、来期も順調であればよいと願っているところですが、世界的に混迷している状況で不安要因は残ります。けれど、今年の3回生は総じて、落ち着いているので担任としては少し気が楽です。

② 学内ではできるだけそれぞれの学生に気を配るようにしていますが、家庭内でご家族でなければ気づけないところも多々あることと思います。もしお気づきの点があれば何でも良いので、ご連絡いただくと幸いです。お待ちしております。



健康栄養学科3回生担任
上地 加容子

① 1、2回生に比べて、履修科目数や専門科目が随分多いにもかかわらず、復習しようと思っているがアルバイト等で時間が取れない、課題に追われているという学生が多いように感じています。その一方で、色々なことに思い悩み、充実した学生生活を送っている様子を見て、頼もしい学年になってきたとも感じています。年末には就職活動が始まりますが、こういった就職先が自分に合うのかわからないという学生は多く、自分の長所を伸ばして、あせらないで自分に合った就職先を見つけてほしいと願っております。

② いよいよ臨地実習が始まります。大学で学んで身につけてきたことが、社会で通用するのかどうか、自分の実力を知る良い機会でもあります。また、緊張と厨房の暑さで、かなり疲れることが予想されます。大学としても、臨地実習先で、何か困ったことがあれば、相談を受けられるように体制を整えています。ご家庭におかれましては、体調を崩さないように、心身両面のサポートをお願い致します。



人間環境デザイン学科1回生担任
加藤 信喜

① 畿央大学に入学される学生の特徴に、明るく元気で人なつこいという性格があります。今年の1回生も例外ではありません。むしろその性格が際立っているようにも感じました。面談の時間は少なかったのですが希望と不安が入り交じった今の率直な気持ちが伝わってきました。心配な面はたくさんありますが、それを共有していくのが担任と自覚しております。これからの3年間で、それぞれの個性にあった対話できればと思っています。

② 私には受け持っている学生とほぼ同い年の娘が二人おります。なかなか難しい年頃です。自分の子と同様に学生と接することはできませんが、そんな気持ちで面談しています。親御様にはどんな些細なことでもコミュニケーションをとってほしいと願っています。



人間環境デザイン学科1回生担任
齋藤 功子

① クラスの学生たちと面談をして、素直で前向きな学生が多いという印象を持ちました。授業等の出席率は高く、また学年全体が仲良く、その分、授業中うるさい状況になりつつあり心配です。けじめをつけられるよう成長して欲しいです。卒業後の進路を明確に持っている人とそうでない人がいます。自分の適性を見極めることは大学4年間の学びの目的の一つでもあります。焦らず、何事にも積極的に取り組みましょう。自ずと答えは出てくるはずですよ。

② 毎年、なるべく早く新入生を覚えるよう努力していますが、年々、遅くなってきてしまいました。今年は、担任になったおかげで、現時点で全員の顔と名前が一致します。後は、忘れないよう努めます。



人間環境デザイン学科2回生担任
藤井 豊史

① とても素直で良い子が多いのが、長所でもあり心配な面でもあると思っています。昨今、我が校の卒業生に限らず世の中でも問題になっていますが、新しく社会へ出た卒業生達が一年も経たないうちに離職してしまうことが非常に増えています。多分これまで、家庭でも学校でも大切に育てられ怒られたことも挫折を味わったこともなかったためか、とても打たれ弱いことが原因なのでしょう。

② 怠けたり誤魔化したりする者には、遠慮無く怒ろうと心がけています。彼らには「自分の人生は責任を持って自分で決める」「その代わり自分の責任は自分で取る」ことを学んで欲しいからです。保護者の皆様も、彼らの未来のために、彼らの逃げ道にはならないで頂きたいと思います。



人間環境デザイン学科2回生担任
東 実千代

① 学年進行に伴い専門科目の履修が増えると、興味を持つ分野に個性が出てきました。後期から開講される「プロジェクトゼミ」では、上級生とともに実践的

な学習を進めますので、今後の方向性を考える機会となり、一層成長してくれると期待しています。一方、中だるみが生じる学生もあり、変化がどちらの方向に向くかに気をつけています。また、クラブ・サークルに入っている学生は、中心的存在として活動し始め、充実した学生生活をおくっている様子です。

② 年に二度の面談に限らず、学内でのコミュニケーションを大切にしています。学生たちはそれに気持ちよく応じてくれ、各家庭でのご指導に感謝しています。一度大学を休みがちになると元の生活に戻すのは大変ですので、引き続きこの関係を継続できますよう、ご協力をお願い致します。



人間環境デザイン学科3回生担任
中山 順

① 3回生になってから、コース分けとして、建築コースが減り、逆に造形デザインコースとインテリアデザインコースが増えました。コース変更が結構多かったようです。自分の選んだコースで、迷い無く頑張っている学生も多々います。でも、自分が将来何をやりたいのか全く定まらない学生が若干増えていることが心配な面です。

② 自分が何をやりたいのか全く定まらない学生については、困難ですが、できるだけ話を聞き、少しでも自分の進むべき方向性を決める際のサポート役になればと思います。保護者の方々も、ご子息の考えておられることを聞いてあげて頂きたいと存じます。



人間環境デザイン学科3回生担任
李 沅貞

① 3回生2組27人に対して前期面談を行いました。いつの間にか建築・まちづくりコース志望者が減り、インテリアデザインコース、造形デザインコース、その他（公務員志望など）へと2年半前の入学当初とは異なる方向転換となっていました。また福祉住環境コーディネーターや色彩検定など資格に関しても積極的に受験するようになり、もうすぐ始まる就職活動に備えている様子でした。進路についてこれ以上悩みが増えるかもしれませんが、前向きに頑張ってほしいです。

② 担任としては、いつでも気軽になんなりとなんでも相談できるよう心掛けていますが、家族、特に保護者のサポートが最も大事な時期ではないかと思っています。あたたかい応援をどうぞよろしくお願いします。



現代教育学科
学校教育コース1回生担任
島 恒生

① 勉学やボランティアを頑張りたいと熱意を持っている学生が多く、頼もしく感じています。ただ、大学生活にも慣れ、緊張感もとれ、生活リズムも不安定になるころです。生活リズムを確立し、大学の授業にきちんと出て、予習・復習も含めてしっかりと勉強しましょう。さらに、子どもたちとかかわる活動などにも積極的に参加し、実践的な力を身に付けるなど、自分を高めていきましょう。自分との闘いに勝ち、自律した学生になれるよう、努力をしていきましょう。

② 自分の夢をしっかりと意識し、その実現に向けて積極的に踏み出している学生は、教員採用試験や就活なども突破していきます。学生が自ら踏み出せるよう、一人一人の学生とたくさん話をし、励ましていきたいと思えます。ご家庭でも、本人の自律に応援をお願いします。



現代教育学科
学校教育コース1回生担任
深田 将揮

① 学生生活に不安を感じながらも授業、ボランティア、サークル・クラブ活動、アルバイトを頑張りたいという意欲のある学生が多かったです。夢を持ち、実現に向かって頑張っているとどんな事でも前向きに、また元気でいれるのだと学生から教えてもらいました。ただその反面、頑張り過ぎでこれから「疲れ」や「ストレス」が溜まっていかないと心配です。

② 学生の表情や様子の変化には敏感に反応しております。また、事あるごとに積極的に声掛けもしております。ですが、もしご家庭で気になるようなことがございましたらご相談いただければと思います。



現代教育学科
学校教育コース1回生担任
宮村 裕子

① 第一志望として入学した学生はもちろんのこと、そうでない学生からも「畿央に入学して良かった」「この大学で頑張っていきたい」という声が聞かれました。大学生生活にも慣れ、進路を明確にして具体的な目標を立てている意欲的な学生が多いのが印象的です。その反面、授業の聴き方、ノートの取り方、予習復習の方法等がつかめず、「結局、何もしていない」という学生が少なくありません。自分で学習する姿勢や習慣を自ら身に付けてほしいと思います。

② 数年ぶりに1回生の担任となり、学生たちのパワーに圧倒されています。学内では挨拶をしてくれますし、こちらから姿を見掛けたら表情や様子を見るようにしています。積極的に学生生活を楽しむあまり、体調を壊したり時間にルーズになったりしないよう、ご家庭でも時々大学での様子について話を聞き、見守っていただけたら大変心強いと感じています。



現代教育学科
幼児教育コース1回生担任
大城 愛子

① 学生の皆さんが入学されて最初の面談だったので、担任している学生一人ひとりと話せることを楽しみにしていました。保育士や幼稚園教諭になるという明確な目標をもって入学し、すでに子どもと関わるボランティアに参加していたり、今後インターンシップ等にも参加したいという積極的な学生が多く、頼もしく感じています。ただ、幼児教育コースでは小学校教員免許も取得可能なことから免許・資格を3つ取るべきか迷っている学生もいますので、今後の大学での学習状況を見守りつつ、本人の意思を尊重しながら支援していきたいと思えます。

② 毎日学内で会うとは限りませんので、講義以外にも学内で顔を合わせた時は挨拶に加えて何か一言でも声をかけ、会話の機会をもつことを心がけています。保護者の皆様には、今後も温かい見守りとご支援をお願いいたします。



現代教育学科
幼児教育コース1回生担任
西端 律子

① 入学して数ヶ月経ち、友達も増え、大学での生活にも慣れてきたように思います。

幼児教育コースは実習が早いため、免許や資格に必要な単位はとりこぼしのないように指導いたしました。すでに前期試験は終わっておりますが、勉強の仕方がわからない、テストが不安という声も聞きました。高校までのテストと違い、論述形式が多いのは大学のテストの特徴でしょう。友人と一緒にノートを見直したり、まとめなおしたりするようにアドバイスいたしました。

② 畿央大学では複数の免許や資格を取得することができます。とはいえ、授業の負担も増えます。ぜひご家庭で、選択肢を残しておくのか、必要な免許や資格に絞るのかを、将来のことも踏まえお話しいただければ幸いです。



現代教育学科
幼児教育コース1回生担任
池田 雅代

① 入学前はいろいろ不安があったが、宿泊研修で一気にも他の学生と打ち解けたというケースがほとんどで、今のところ不安材料はなく学生生活を楽しく過ごしている様子。授業についても難しくついていけないというものは特に無いが、試験がどのようなものかわからないので不安という学生が何人かいた程度。みんな資格を取るというしっかりした目標をもって、希望に燃えているといった感じです。

② 中学や高校のように担任と学生が毎日顔を合わせるわけではないので、廊下などで出会ったときはできるだけ声をかけるようにしています。



現代教育学科
教育心理学コース1回生担任
良原 誠崇

① 毎年のことですが、ベリ－ハッピーからそうでないものまで、様々な思いをもって入学してこられます。ですが、スタート地点の気持ちのままずっと過ぎていくのではなく、いろんな学びや関わりを通して変化していくものです。小さい大学ながら、本当にいろんな学生、教職員がいますし、教育という学びそのものも、そこに立ち現れる意外性を楽しんでほしいと思います。

② 保護者懇談会でも講演をさせていただきましたが、本年度から「こころば」という新しい学生相談室ができました。保護者の皆様にもご利用いただければと思っております。直通電話もあります。080-2527-0062、平日の6時までです。



現代教育学科
教育心理学コース1回生担任
古川 恵美

① 教育心理学コース1回生の担任をしています。養護教諭や小学校の先生になりたい人、認定心理士の資格を取ってさらに大学院への進学を考えている人などがいるクラスです。一人一人と話して感じたことは、自分自身のことをよく理解している人は、自分の将来の姿を思い描きながら積極的に大学の授業に取り組んでいるということです。なんとなく大学に came と話してくれた人には、自分の特徴を理解して、それを活かせるような学びを深めていくことを勧めました。

② 何らかの悩みを抱え、研究室に入ってくる学生も少なからずいます。その悩みについての相談というより、自分でなんとかして解決するためのヒントを求めているような気がします。自分の考えを話してもらい、それをまとめるようなお手伝いをしています。ご家族の方と同じような方向で学生を支えていたらと思っています。



現代教育学科
学校教育コース2回生担任
奥田 俊詞

① 2回生ともなると大学生活にもかなり慣れてきて、大人の余裕を感じさせる学生が多くなってきたように思います。また、それぞれに将来の目標が明確化してきているようで、いい意味でのプレッシャーを感じる学生が現れ始めています。中には、漠然とした不安から自分のめざす職を担う自信がないと感じてしまう学生もいますが、そのような学生には、インターンシップや職場見学で自分の不安を払拭するように助言しております。

② 保護者の皆様、学生は、3回生、4回生と進むにつれていろいろな不安やプレッシャーと向き合うことになります。そんなとき、本人以上にお子様のことを信じてあげてください。「大丈夫、できるよ」と声をかけてあげてください。



現代教育学科
学校教育コース2回生担任
竹下 幸男

① 将来の目標がはっきりとしている人は、それに向かって日々努力している様子が窺えて安心することができました。一方、将来の目標が決まっていない人は、何を努力すればいいのかわからず悩んでいる点が心配でした。目標をしっかり持つことの大切さを感じます。同じ努力をするのでも、目標が定まっているのとないのでは、成果も違うのではないのでしょうか。難しいことですが、将来の自分をしっかり考えてほしいと思います。

② 困ったときに相談に来やすい雰囲気を作れば心がけています。今の大学生は、昔に比べ、とても忙しいようです。食事や睡眠などの日常の健康管理には、ご家庭の協力が欠かせないかと思います。



現代教育学科
学校教育コース2回生担任
生野 勝彦

① 2回生になり学生生活にもすっかり慣れた様子です。授業にクラブ活動やアルバイトと慌ただしい生活をおくっている学生が大半です。授業の参加状況を確認したところサボっている学生は見受けられませんでした。アルバイトはお金を稼ぐことだけでなく、これから必要になる人間力を磨いていると考えています。これから始まる実習を通して、将来の自分を見据えてくれることを期待しています。

② 学内でクラスの学生を見かけた時は、最近の状況を聞くようにしています。大学生とはいえ、まだまだ甘いところがあると思います。本分を忘れることなく学校中心の生活になっているか様子をうかがってください。何かあれば連絡して下さい。



現代教育学科
学校教育コース2回生担任
石川 裕之

① 前期面談を終えて学生さんについて感じたことは、大学生活にも慣れ、ずいぶん落

ち着いてきたなということです。昨年のような初々しさによって、頼もしさを感じられます。授業や課外活動などに対しても、昨年はやや受け身な様子でしたが、今年は自ら積極的・能動的に関わる姿勢が見て取れました。将来の進路も、徐々に固まってきたようです。中弛みすることなく、引き続き有意義な大学生活を送っていただきたいと思います。

② 担当する科目の関係で授業では学生さんとお会いする機会が少ないのですが、学内で見かけた時などに積極的に声をかけるように心がけております。なお、1回生の時に比べてやや遅刻が多くなっている学生さんが見受けられますので、ご家庭で気にかけていただければ幸いです。



現代教育学科
幼児教育コース2回生担任
永瀨 泰一郎

① 勉強面では専門教科が増えて、実習記録の取り方や模擬保育について考えることが増えてきたことで、保育者になる実感が持てるようになったと答える学生が多く出てきました。1回生後期で先生になることを悩んでいた学生も、やる気を出しています。2回生になってから精神的につらかった学生も、現在は自分なりの努力を行い、保育実習にめがけて頑張る姿が見られます。

② 担任としては、心の支えになるよう努力しております。この夏、保育実習や施設実習を10日ずつ行うことで、自信もショックも持ちます。どうぞお子様の社会人としての自覚を持つ姿にエールをお願い致します。



現代教育学科
幼児教育コース2回生担任
柏井 みづほ

① 幼児教育コース2回生の前期は提出課題が多い時期ですが、ほとんどの学生は、勉学とサークル活動やアルバイトを両立し、充

実した学生生活を送っているようです。この夏、教育学部の中で一番先に保育所と福祉施設での実習に参加します。実習では、社会人と同様の心構えが求められます。学内とは異なりそれぞれに苦労することがあると思いますが、それを乗り越えて一段と成長してくれることを願っています。

② 半期毎の面談では、一人ひとりの夢の実現のために今何をすべきかを一緒に考え、実習やボランティア、インターンシップ、サークル活動に積極的に参加することを勧めています。保護者の方々のご理解とご協力をお願いいたします。



現代教育学科
教育心理学コース2回生担任
中城 進

① 何かに成ろうとして、日夜、必死に頑張っている学生の姿が見られます。勉学に精

進する上回生を見習って、夜遅くまで自習をする学生も出て来はじめました。しかし、全体的な傾向をみると、『教育心理学演習』で強く感じるのですが、英語の基礎学力が低く、他の科目も基礎学力が不十分ではないかと思っています。また、アルバイトで疲れ果てている学生も多く見られ、アルバイトが主となっているのではないかと心配しています。

② 自身の弱点を自覚し、その弱点を自力で克服する考え方を身に付けさせてやりたい。そのために、自身の数年後の将来を構想し、企画し、実行計画を検討し、実現するという気持ちを持たせてやりたいと思っています。家庭においても学習習慣を形成して欲しいと思います。



現代教育学科
教育心理学コース2回生担任
辰巳 智則

① クラス全体としては、地に足をつけた学びを可能にし、自らが意見を持てる学生が増えてきたようです。それはおそらく、自覚的に学修に励み、自らの生き方や自己の捉え直しを重ねてきたからではないでしょうか。しかし一方では、自らを直視できず、周囲に流されがちな学生も見受けられます。ある種のやさしさのある学生にその傾向があるようですが、それでは「チカラ」へと変えられませんが、でも、自分の生き方に真面目であるならば、陽が射し込む時期が必ず訪れるものと思っています。

② 新鮮な気持ちで会い、待つという事に尽きます。先入観は、善かれ悪しかれ、人の先々を都合良く規定するものであり、可能性を閉ざすものと考えます。皆様方には、学生の多様な経験をお受け容れの上、彼/彼女らと人生を語り合える時間を作って頂ければと思います。



2012年度保護者アンケート結果のご報告

6月に実施した保護者アンケートには、613名の方からご回答をいただきました(内訳は【図1】)。このアンケートに保護者の3分の1にあたる方々にご回答いただき、畿央大学についてのご感想やご意見を寄せていただいていることは、保護者の皆様の関心と期待の大きさを表れと受け止めております。ここに改めて御礼申し上げますとともに、皆さまからお寄せいただいたお声を今後の本学の運営に積極的に生かしていきたいと思っております。以下、今年度のアンケート結果のポイントについてご報告させていただきます。

建学の精神

「徳をのばす、知をみがく、美をつくる」

「畿央大学の建学の精神(徳をのばす、知をみがく、美をつくる)をご存じですか」という設問に対して、実に82%の方が「知っている」と回答されています(【図2】)。これは一昨年度の67%、昨年度の64%と比べても飛躍的に高い割合となっています。これだけ多くの方が本学の教育の根本であ

る「建学の精神」をご存知だということ是非常に心強く感じます。「建学の精神」は、冬木学園創立以来、学園の一貫した精神的支柱となってきたものです。畿央大学開学10周年を迎える今、本学を卒業していく学生が「建学の精神」を実践的に身につけて社会に巣立ってくれるよう、私たち教職員は決意を新たにしているところです。

担任制について

本学の特色のひとつに「担任制」を採用していることが挙げられますが、この制度の存在についても84%の方が「知っている」と回答されています(【図3】)。昨年度のアンケートで「知っている」と回答された方は71%でしたから、少数数制を生かしてきめ細やかな指導を可能にする担任制の趣旨をより多くの方に知っていただくことができています。

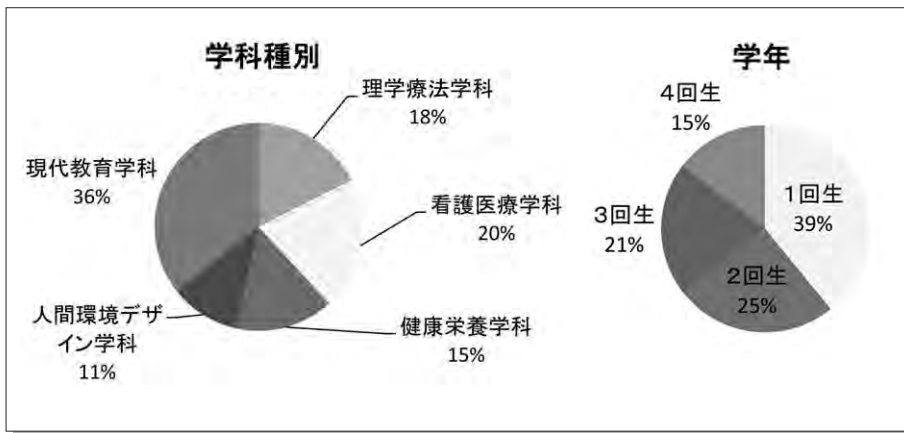
担任制については「わからないことや相談したいことができたときに担任がいてくださるので子どもも親も安心しています」「一人ひとりを把握していただけるのであ

りがたい」「担任の先生になら思いを伝えられるような関係になってほしい」など肯定的なご意見が多く寄せられる一方で「丁寧に対応してくれているが、自立の面では厳しさもほしい」「保護者とももう少し情報を共有できれば」などといったご意見、ご要望もいただいています。畿央大学ならではの充実した担任制度としていくために、改善に努めて行きたいと思っております。

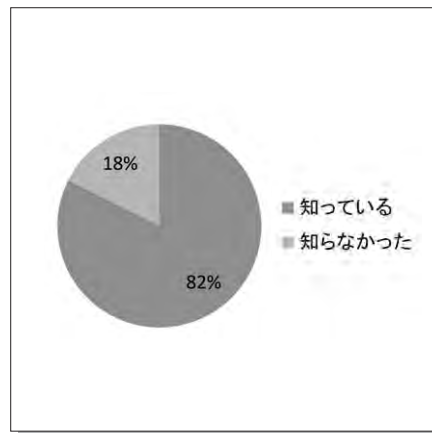
学生生活のさらなる充実に向けて

「畿央大学のことが家庭で話題になりますか」という設問に対して、「よく話題になる」「時々話題になる」と回答された方を合わせると87%に上ります(【図4】)。また、「学生は畿央大学での生活に充実感を持って通学されているように思えますか」という設問についても「強くそう思う」「ややそう思う」と回答された方の合計が91%と、非常に高い割合になりました(【図5】)。「大学に通うのが楽しいようで、毎日休まず通っている」「友だちがたくさんでき、部活も楽しんでいて、生き生きしている」「学

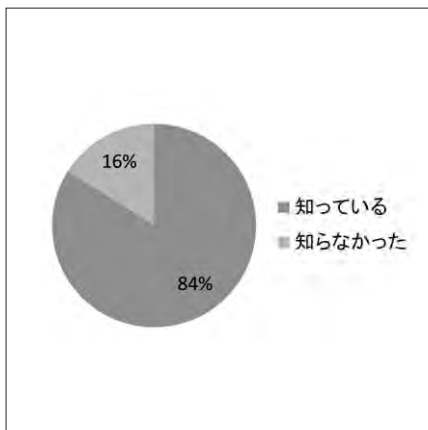
【図1】●回答いただいた保護者の内訳



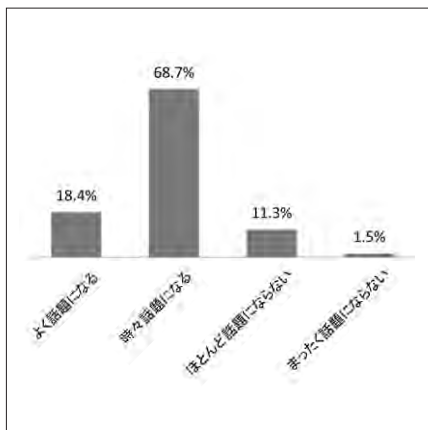
【図2】●建学の精神をご存知ですか



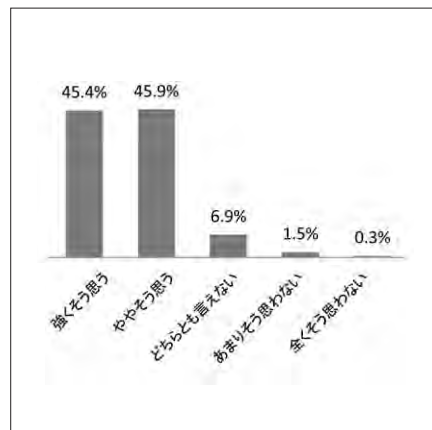
【図3】●担任制について



【図4】●畿央大学について、家庭で話題になりますか



【図5】●学生の大学生活に対する充実感は？



校で学んだことを家に帰っていろいろ話してくれる」など嬉しいお声を数多くお寄せいただきました。

一方、「畿央大学が今以上に充実すべき点は何だと思われますか」という設問に対して、もっとも多くの回答が寄せられたのは「キャリア支援」でした。以下「専門性を身につけさせる教育」「マナー、社会常識を重視した教育」「進路を考えさせるキャリア教育」の順になっています（【図6】）。設問「学生に関連してもっと知らせてほしい情報は何か」への回答第1位が「就職支援や就職状況」だったことや、設問「保護者向けに実施してほしいことは」への回答第1位が「就職に関する保護者向けの説明会」だったことも併せて、保護者の皆さまの関心が就職活動を含めたキャリア支

援に強く向けられていることがよくわかります（【図7】【図8】）。

キャリア支援のさらなる充実をはかり、学生一人ひとりが豊かな学生生活を通して、将来の夢を確実に実現させてくれるよう、努力していきたいと思っています。

本学ならではの特色を生かして

ここまでご紹介してきた以外にも、今回のアンケートでは「学生と先生の距離が近く、こまやかな対応がなされている」「学科を超えたつながりがある」「担任制や個別指導により就職率が高いところが長所」など、いわゆるマンモス大学ではないからこそ可能な本学の取り組みや教育成果に対する高い評価と、さらなる期待が感じられるご意見を数多くいただきました。そうした

評価やご期待にしっかりと応えられるよう、本学の規模と資格志向、実学重視といった特色を生かして、これからも前へ進んでまいりたいと思います。

以下、お寄せいただいたご質問・ご要望の主なものについてのQ&Aです。

㊦ 実習で学外の施設に通うことになりましたが交通費はどうなりますか？

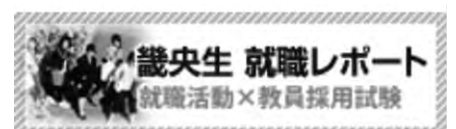
▲ 本学の学外実習においては、遠隔地の施設に出向くこともあります。その際には実習にともなう交通費の支援を行っています。実習用の通学定期券購入のための証明書を発行し、5日間をこえる実習については、一日当たり1000円を超える額を補助しています。学生支援センターで手続きが可能です。

㊦ 帰宅する時間が遅くて心配しているのですが

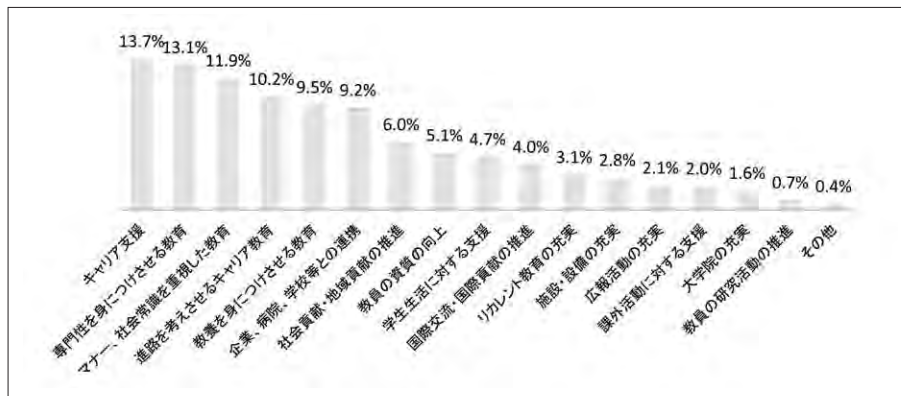
▲ 本学の施設は、基本的には23時までの利用が可能になっていますが、体育系・音楽系の施設の利用時間は20時ないし21時までの利用となっていることから多くのクラブ・サークルは21時を目途に終了しています。ただし、文化系の場合は、教室等の利用が23時まで可能なことから、畿央祭の前などの時期には一定遅くまで活動していることもあるようです。大学としては学生の学習時間の確保のためにその環境や条件はできる限り保障するように努めているところです。学生の生活は自主管理が基本です。ご家庭で、直接どのような状況になっているのかお聞きいただきたいと思います。

㊦ 学生たちの大学での様子をもっと知りたいのですが

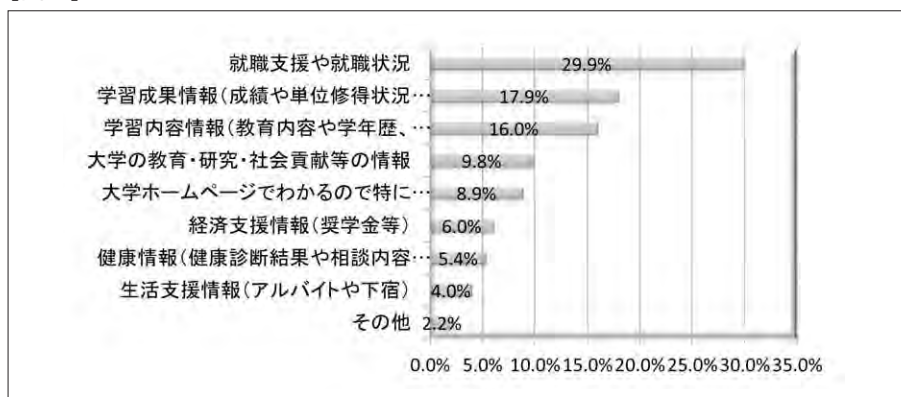
▲ 本学のホームページから「Kio's Smile Site」や「畿央生就職レポート」を是非ご覧ください。Smile Siteでは、各学科の取り組みからクラブ・サークル、卒業生の研究会など、本学での学びや研究の様子、社会貢献、自主活動まで幅広い学生、卒業生の取り組みが紹介されています。また、就職レポートでは、本学の就職実績から、内定を勝ち取った学生の就職活動の紹介まで、タイムリーな情報を提供しています。ぜひ下図のバナーからアクセスしてみてください。



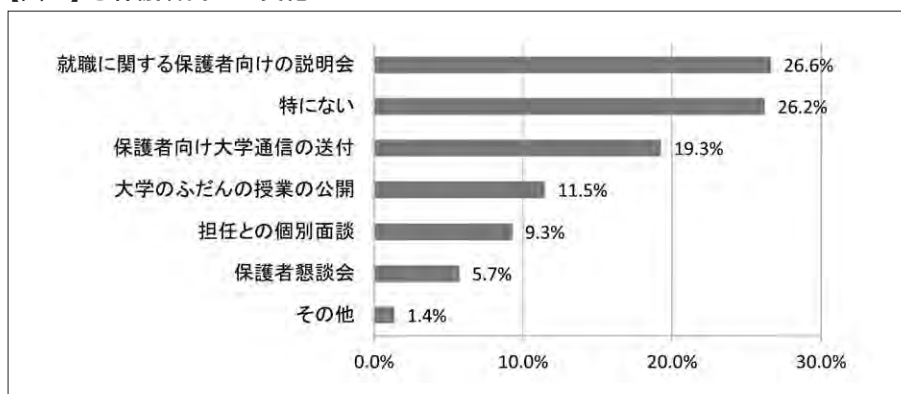
【図6】●畿央大学が充実すべき点は？



【図7】●もっと知らせてほしい情報は？



【図8】●保護者向けに実施してほしいことは？



授業日カレンダー

注：①～⑯は各曜日の授業回数、※印のついた日は校舎内に入ることはできません。■は休講日

健康科学部

9月	10月	11月	12月	1月	2月
日曜 内容	日曜 内容	日曜 内容	日曜 内容	日曜 内容	日曜 内容
1土	1月①	1木⑥	1土⑧	1火元日※	1金⑮
2日	2火①	2金⑤	2日	2水	2土⑮
3月	3水①	3土⑤	3月⑨	3木	3日
4火	4木②	4日	4火⑨	4金	4月⑮
5水	5金②	5月⑤	5水⑩	5土⑫	5火⑮
6木	6土②	6火補講日	6木⑩	6日	6水⑮
7金	7日	7水⑥	7金⑩	7月⑬	7木⑮
8土	8月②	8木⑦	8土⑨	8火⑫	8金⑮
9日	9火②	9金⑥	9日	9水⑬	9土⑮
10月	10水②	10土公募推薦入試	10月⑩	10木⑬	10日
11火	11木③	11日公募推薦入試	11火⑩	11金⑬	11月
12水	12金③	12月⑥	12水⑪	12土⑬	12火
13木	13土③	13火⑥	13木⑪	13日	13水
14金	14日AO入試※	14水⑦	14金⑪	14火成人の日	14木
15土	15月③	15木⑧	15土⑩	15火⑭	15金
16日	16火③	16金⑦	16日	16水⑭	16土
17月	17水③	17土⑥	17月⑪	17木⑭	17日
18火	18木④	18日公募推薦入試	18火⑪	18金	18月
19水	19金	19月⑦	19水⑫	19土	19火
20木	20土	20火⑦	20木⑫	20日	20水
21金	21日	21水⑧	21金⑫	21月⑭	21木
22土	22月	22木⑧	22土⑪	22火⑭	22金
23日	23火	23金⑧	23日	23水	23土
24月	24水	24木⑦	24日	24火	24金
25火	25木⑤	25日	25火	25金⑭	25月
26水	26金④	26月⑧	26水	26土⑭	26火
27木	27土④	27火⑧	27木	27日	27水
28金	28日	28水⑨	28金	28月⑮	28木
29土	29月④	29木⑨	29土	29火⑮	
30日	30火⑤	30金⑨	30日	30水⑮	
	31水⑤		31月	31火⑮	

教育学部

9月	10月	11月	12月	1月	2月
日曜 内容	日曜 内容	日曜 内容	日曜 内容	日曜 内容	日曜 内容
1土	1月	1木⑤	1土⑦	1火元日※	1金⑭
2日	2火	2金④	2日	2水	2土⑭
3月	3水	3土⑤	3月⑧	3木	3日
4火	4木①	4日	4火⑧	4金	4月⑮
5水	5金①	5月④	5水⑨	5土⑪	5火⑮
6木	6土①	6火補講日	6木⑨	6日	6水⑮
7金	7日	7水⑤	7金⑨	7月⑫	7木⑮
8土	8月①	8木⑥	8土⑧	8火⑪	8金⑮
9日	9火①	9金⑤	9日	9水⑫	9土⑮
10月	10水①	10土公募推薦入試	10月⑨	10木⑫	10日
11火	11木②	11日公募推薦入試	11火⑨	11金⑫	11月
12水	12金②	12月⑤	12水⑩	12土⑫	12火
13木	13土②	13火⑤	13木⑩	13日	13水
14金	14日AO入試※	14水⑥	14金⑩	14火成人の日	14木
15土	15月②	15木⑦	15土⑨	15火⑫	15金
16日	16火②	16金⑥	16日	16水⑫	16土
17月	17水②	17土⑤	17月⑩	17木⑫	17日
18火	18木③	18日公募推薦入試	18火⑩	18金	18月
19水	19金	19月⑥	19水⑪	19土	19火
20木	20土	20火⑥	20木⑪	20日	20水
21金	21日	21水⑦	21金⑪	21月⑬	21木
22土	22月	22木⑦	22土⑩	22火⑬	22金
23日	23火	23金⑦	23日	23水	23土
24月	24水③	24木⑥	24日	24火	24金
25火	25木④	25日	25火	25金⑬	25月
26水	26金③	26月⑦	26水	26土⑬	26火
27木	27土③	27火⑦	27木	27日	27水
28金	28日	28水⑧	28金	28月⑭	28木
29土	29月③	29木⑧	29土	29火⑭	
30日	30火④	30金⑧	30日	30水⑭	
	31水④		31月	31火⑭	

畿央祭 ～10th ANNIVERSARY～「煌」

2012年10月20日(土)・21日(日)

今年のテーマとして、「煌(きらめき)」を選びました。昨年の震災を経て、日本は一度、暗く重い悲しさに包まれました。しかし、いつまでもこの暗雲の下でなく、暗雲を消し去り、小さくても輝きを取り戻した明るい未来へと進んでいきたいという願いを込めたかったからです。たとえ、はじめは小さな煌きであろうと、一人ひとりの笑顔や夢の煌きを絶えず輝かせながら、みんなが手を取りあって前を向き、進んでゆけば、大きな光に変わると信じています。

私たちは小さな存在ですが、少しでも多くの人を照らし、笑顔になってもらいたいと思っています。(実行委員会)



愛と絆 畿央大学開学10周年 魅力ある未来へ

畿央大学開学10周年 記念募金のご案内

畿央大学は来春開学10周年を迎えます。10周年にあたり「愛と絆 魅力ある未来へ」をテーマに様々な記念事業を展開してまいります。この事業に要する費用の調達と合せて教育・研究、地域貢献事業の基盤確立をすすめるために、この9月から10周年記念募金を募集することになりました。

9月の内に改めてご案内させていただきますので何卒ご協力頂きますようお願い致します。